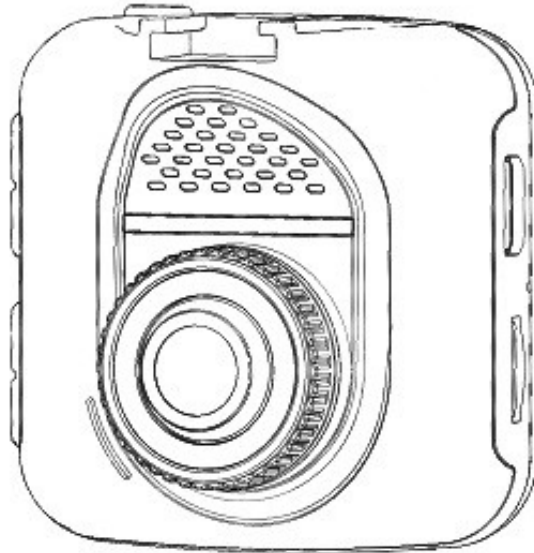


ドライブレコーダー OWL-DR04-BK 取扱説明書

【保証書付】

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本説明書をご一読ください。また本説明書の末尾に保証書が付いておりますので、ご購入された年月日が特定できるレシートなどと共に、紛失しないよう大切に保管して下さい。



特徴

- 本製品はフル HD (1920 × 1080p) の高解像度と、F1.8 の明るいレンズを搭載することで、夜でも明るくノイズの少ない鮮明な映像を記録することができます。
- G センサーを搭載し、衝撃時の映像を退避フォルダーに記録します。
- HDR (ハイダイナミックレンジ) 技術で、逆光やトンネル出入り口など明暗差の大きなシーンでも最適な露出で撮影できます。
- LED 信号機消滅問題対策済み：日本全国どこでも安心して使えます。
- 地デジ妨害対策済み：地デジ放送に影響を与えないノイズ対策を実施済みです。
- 録画開始を音でお知らせ。画面を見ずに録画開始がわかります。
- どんな時も録り逃がさない：「無操作時オート録画機能」搭載で録り逃がしを防止します。
- ドライブ中は音声録音をせず、事故時など衝撃を感知したときだけ音声録音を行う「プライバシーオート録音機能」搭載で、プライバシーを守りつつ肝心な事故時の音は逃しません。
- シンプルメニュー：ドライブレコーダー本来の機能を追求し、必要機能を充実させつつメニューをシンプルにすることで操作性が向上します。



⚠️ もしも事故が発生した場合




事故の程度に関わらず、事故発生時は記録されたデータが上書きされないように、必ずメモリーカードを抜いて保管及び、データのバックアップを行ってください。メモリーカードを抜き取る際は、必ず本製品の電源をオフの状態で行ってください。電源オンのまま抜き出すとデータ消失の恐れがあります。

はじめに

- 付属品をご確認ください。（準備ページの内容をご確認ください。）
- 本製品および本説明書は予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。最新の情報は弊社Webサイト（<http://www.owltech.co.jp>）を参照してください。
- 本説明書に掲載している画面やイラスト・写真などは、実際の製品と異なる場合があります。
- 本説明書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一ご不明の点や誤りなどお気づきのことがございましたら当社サポートセンターに連絡ください。
- 万一本製品使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、弊社では一切その責任を負いません。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失により、損害および逸失利益等につきましては、弊社では一切その責任を負いません。
- 本製品を使用する前に必ず試し撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本説明書の一部または全部を無断で使用・複製・転載することはしないでください。
- 本説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本説明書ではTM および®マークは明記しておりません。
- ご使用の前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

 警告	誤った取扱いをすると「人が死亡するまたは重症を負うなどの可能性が想定される内容」を示しています。
 注意	誤った取扱いをすると「人が傷害を負う可能性や物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。

	製品の取扱いにおいて注意を促す記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を禁止する記号です。
	製品の取扱いにおいて行為を強制指示する記号です。

警告

- 濡れた手で本製品およびアダプタやコネクタに触れないで下さい。
- 本製品を使用中に発火、過剰な発熱、発煙、異臭などの異常が発生した場合、直ちに使用を中止してください。お買い求めの販売店もしくは弊社サポートセンターに点検・修理を依頼してください。
- 本製品を使用中に水や液体が入った場合は直ちにケーブル類を抜き使用を中止してください。
- 本体の分解や改造は絶対に行わないでください。ショートして火災や感電、故障や事故の原因になることがあります。
- 車両への取付けは、必ず本説明書手順に従って取り付けてください。誤って取付けると、道路運送車両法違反となるばかりか交通事故やけがの原因となります。
- 走行中は運転者による操作や画面の注視は避けてください。マニュアル録画する際は、周囲の安全を十分に確認した上で、素早く操作してください。
- 内蔵リチウムイオン電池が液漏れしたり、異臭がする場合はただちに使用を中止し火気より遠ざけてください。
- 乳幼児の手の届く場所での使用や保管はしないでください。ケーブルが首などに巻きついたり、小さな部品を誤飲するなど、事故や傷害の原因になります。特にmicroSDカードの取扱いには十分ご注意ください。

注意

- 火気のそばでの使用や保管はしないでください。本体の変形や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いている場合は、乾いた布でよく拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- コネクタやシガーソケットに無理やり押し込まないでください。コネクタの破損やショートの原因となります。
- 本製品を無理に引っ張ったり、折り曲げたり、上に重いものを載せたりしないでください。また、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。故障の原因になります。
- 本体およびシガープラグコードは、エアバッグの妨げにならないように取り付けてください。
- ご使用にならないときはシガープラグコードを抜いてください。
- 駐車時などエンジン停止（ACC＝オフ）時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止（ACC＝オフ）時には必ずシガープラグコードを抜いてください。
- 本製品は日本国内での使用を目的として販売しており、日本国外でのご使用は保証対象外となります。
- 本製品付属のシガープラグコードは本製品専用です。弊社他製品・他社製品では使用しないでください。また弊社他製品・他社製品のシガープラグコードを本製品で使用しないでください。

使用上のご注意

- 本製品に水などの液体をかけたりしないでください。また濡れた手で本製品を取り扱わないでください。
- 本製品の端子など金属部分に触れないでください。接触不良の原因になります。
- microSDカードを接続する場合は、正しいコネクタの向きに水平に接続してください。誤った向きに接続すると、故障や破損の原因になります。
- microSDカードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。microSDカードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。
- microSDカードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。
- 本製品を使用中にmicroSDカードのデータが消失しても、データの保証について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品のケーブルの被覆が破れたり、コネクタがぐらついたりするなどの異常がある場合には使用を中止してください。
- LCD（液晶）画面は、画面の一部にドット抜け（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。これらは、LCDの特性によるものであり、故障ではありません。
- コネクタやシガーソケットに汚れやほこりが付いた場合は、乾いた布で拭き取ってから使用してください。火災や故障の原因になります。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害に対する補償や、接続した機器などに対する保証は一切いたしかねます。
- 皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を止め、皮膚科専門医にご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹など生じる場合があります。
- 製品の仕様、デザイン、および本説明書の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。
- 本製品はすべての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品の故障や本機使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの損傷、破損による損害については、弊社は一切その責任を負いません。
- 本製品は事故の証拠として、効力を保証するものではありません。
- LED式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。それにより発生する損害について弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の近くにGPS機能を持つ製品を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- 地デジ等のTVのアンテナの近くに設置しないでください。TVの受信感度が低下する可能性があります。
- 本製品をいたずらなどの本来の目的以外で使用すると個人情報保護法に抵触する恐れやプライバシーなどの権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。これらについて弊社は一切責任を負いません。
- 本製品の取付けによる車両の変色、変形については弊社では一切責任を負いません。
- 本製品は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

内容

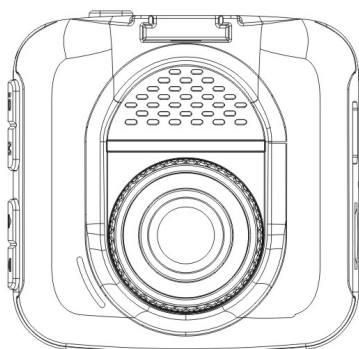
特徴	1	3.3 再生メニュー操作 (ファイル消去と保護)	22
はじめに.....	2	3.4 共通設定	23
安全上のご注意 (必ずお守りください)	2	4 キー割当て	25
使用上のご注意	3	5 故障かなと思ったら.....	26
1 準備.....	5	5.1 電源がオンにならない (インジケータも点かない)	26
1.1 パッケージ内容	5	5.2 録画を開始しない.....	26
1.2 各部の名称	6	5.3 キーが反応しない、動作がおかしい	26
1.3 キーボタン説明	7	5.4 メモリーエラーが出る	26
1.4 microSD カードの取付け.....	7	5.5 常時録画でビデオが保存されていない..	26
1.5 本体の取付け	8	5.6 録画した映像がぼやけている	26
1.6 シガープラグコードの接続と配線	10	5.7 信号待ちのときに常時録画が停止して しまう	26
1.7 電源とインジケータについて	10	5.8 地上デジタル放送に影響がでる	26
1.8 録画モードについて.....	11	5.9 パソコンで映像が再生できない。 またはスムーズに再生できない	26
1.9 動作モードと画面表示.....	11	5.10 日時がリセットされてしまう	26
1.10 電源のオン/オフ	15	5.11 LCD 画面がしばらくすると消えて しまう	26
1.11 日時の設定	15	6 仕様.....	27
1.12 microSD カードのフォーマット	16		
2 使用方法.....	17		
2.1 常時録画	17		
2.2 緊急録画 (衝撃感知時)	17		
2.3 マニュアル録画	18		
2.4 録画ファイル保護	18		
2.5 無操作時オート録画.....	18		
2.6 プライバシーオート録音.....	18		
2.7 写真撮影	18		
2.8 スナップショット	18		
2.9 動体検出	19		
2.10 再生.....	19		
2.11 ファイルの消去/保護.....	19		
2.12 テレビ (モニター) での再生	20		
2.13 パソコンでの再生	20		
3 メニュー設定および操作.....	21		
3.1 録画メニュー設定	21		
3.2 カメラメニュー設定.....	22		

1 準備

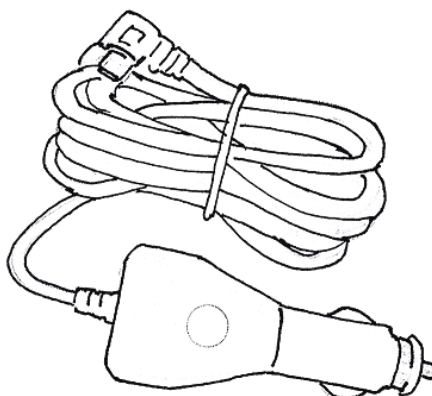
1.1 パッケージ内容

- 本体
- シガープラグコード (約 4m)
- 粘着テープ付きブラケット
- microSD カード (8GB)
- 取扱説明書兼保証書 (本説明書)

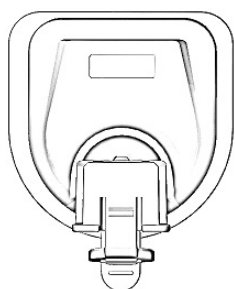
microSD カード, 粘着テープ等の消耗品は保証対象外となります。



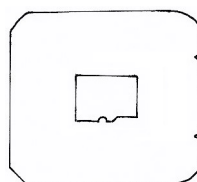
本体



シガープラグコード

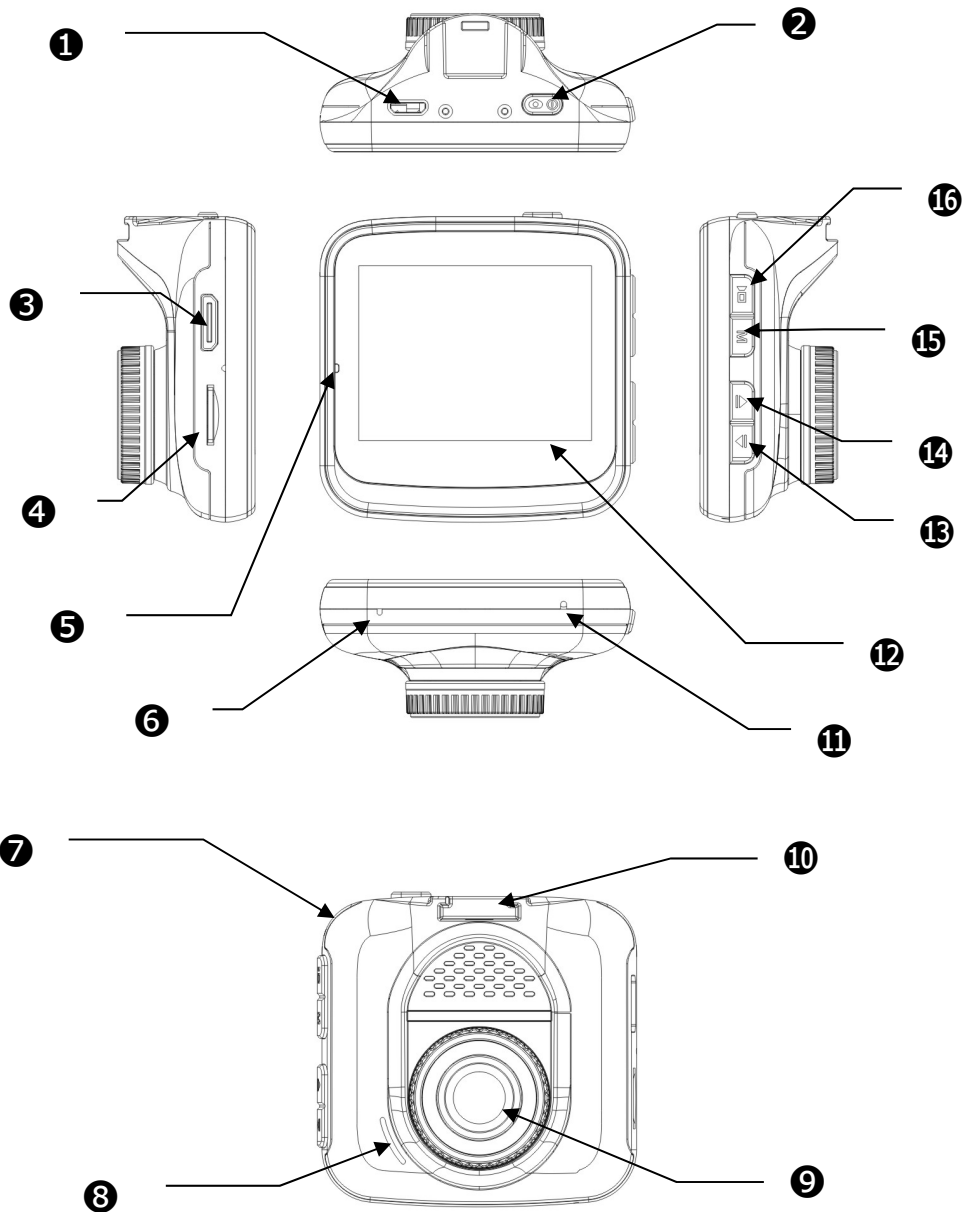


粘着テープ付きブラケット



microSD カード

1.2 各部の名称



(保護シートは使用前に剥がしてください。)

①	microUSB 端子	⑨	レンズ
②	電源/メニュー キー	⑩	ブラケット取付けレール
③	HDMI 出力端子 (HDMI Mini Type C)	⑪	リセットホール
④	microSD カードスロット	⑫	LCD 画面
⑤	インジケータ	⑬	DOWN キー
⑥	マイク	⑭	UP キー
⑦	本体	⑮	モード キー
⑧	スピーカー	⑯	録画/OK キー

1.3 キーボタン説明

(1) 電源/メニュー キー (②)

電源オフの状態では一回押すと本機の電源がオンし、2秒以上の長押しでオフされます。再生モード（9画面表示）では、ファイルの保護または保護解除を行います。録画モード、カメラモード、再生モード（1画面表示）では、メニューのオン・オフを行います。録画中に本キーを押すとスナップショット（写真）が撮影できます。

(2) 録画/OK キー (⑩)

録画モードでは、録画開始・録画停止を行います。カメラモードでは、シャッターボタンとして写真を撮影します。メニューモードでは、決定ボタンとなります。再生モードでは動画の再生、一時停止が行えます。

(3) モード キー (⑮)

カメラモード、再生モード（9画面表示）切り替え、システム設定を行います。録音中はファイルの保護または保護解除を行います。

(4) DOWN キー および、UP キー (⑬, ⑭)

メニュー画面ではメニューの選択を行います。再生モード（9画面表示）では、写真または動画の選択ができます。動画の再生中は、UP キーは巻き戻し、DOWN キーは早送りとなります。録画中の場合は、DOWN キーで、LCD画面のオン・オフを行います。再生モード（1画面表示）では、UP キーでズームアップ、DOWN キーはズームダウンを行います。

(5) リセットホール (⑪)

本製品が応答しないなど動作異常が起こった場合は、リセットしてください。再起動します。リセットする際は、クリップなどを加工してリセットホールに挿入してください。

❗注意：誤ってマイクなど他の穴に挿入しないでください。故障の原因になります。

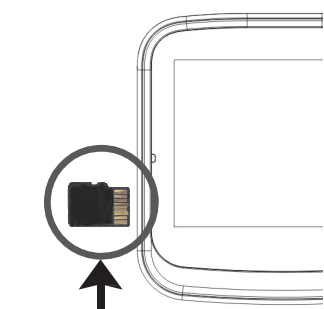
1.4 microSD カードの取付け

⊘注意：microSD カードの抜き差しを行うときは、必ず本体の電源をオフにしてから行って下さい。

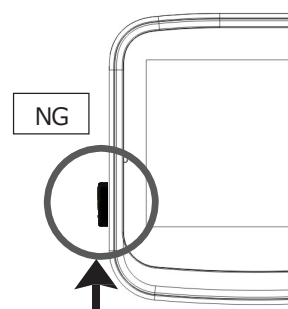
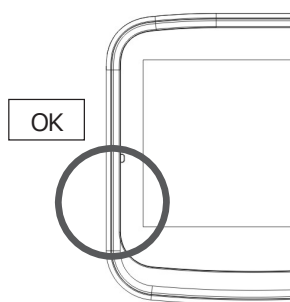
microSD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

(1) microSD カードの金メッキ端子側を図の向きに合わせて、microSD カードスロット (④) に真っ直ぐ挿入してください。

(2) microSD カードが本体よりはみ出している場合は完全に挿入されていません。再度挿入し直してください。



金メッキ端子側を LCD 画面側に向けて挿入してください。



microSD カードが本体よりはみ出している。(不完全挿入)

⚠注意：microSD カードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、定期的にフォーマットを行ってください。

⚠注意：microSD カードは、SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 SD カードを使用してください。安定してお使いいただくために Class10 のご使用を推奨します。

⚠注意：本製品付属の microSD カード以外のカードを使用する場合は、最初に本製品でフォーマットを行ってください。(16 ページ参照)

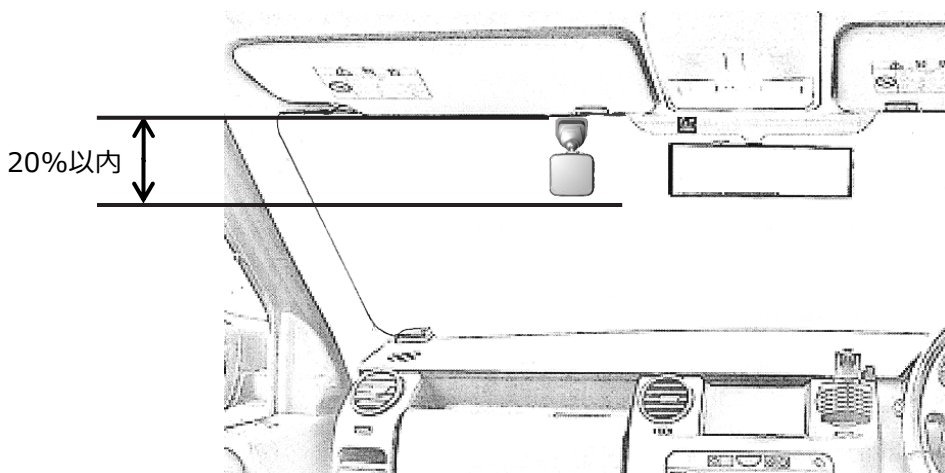
1.5 本体の取付け

(1) 取付け位置

⚠ 本製品はフロントガラスに取り付けることを想定しています。

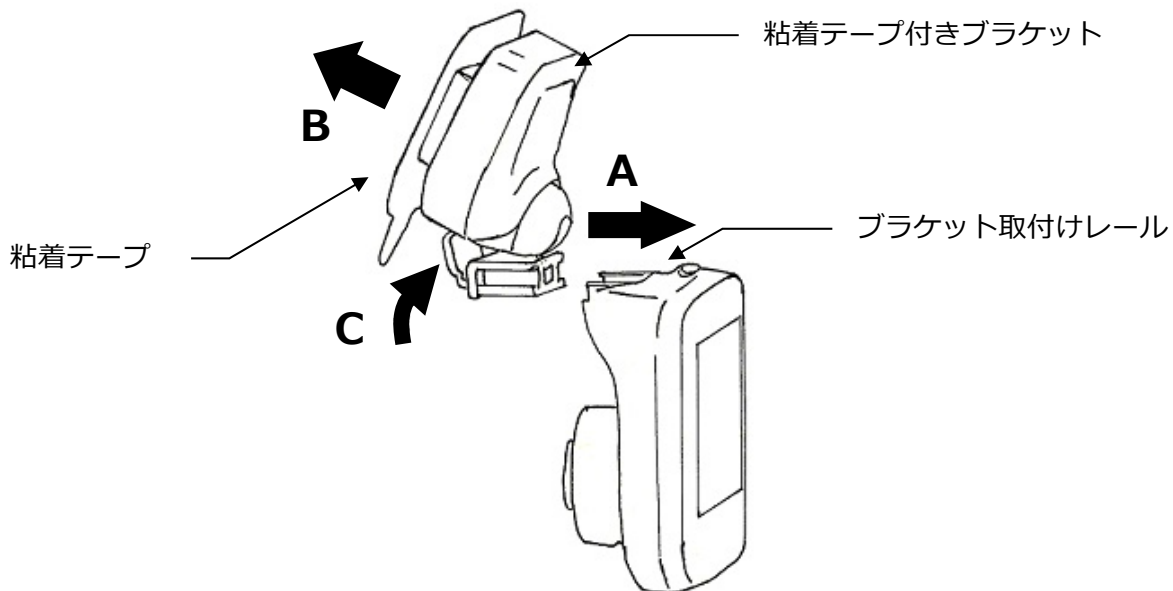
安全基準に適合させるために必ず下記の注意事項を厳守の上、取付けを行ってください。

- フロントガラスへの取付けに関しては、道路運送車両法に基づき設置場所がフロントガラス上部より 20% 以内に制限されています。視界の妨げにならないように取り付けてください。
- ワイパーの可動範囲内に取り付けてください。可動範囲外に取り付けると、降雨時・降雪時に水滴・雪・汚れ等で映像が見づらくなります。
- エアバッグの動作や運転の妨げにならないように取り付けてください。
- 地デジ等の TV のアンテナの近くに設置しないでください。TV の受信感度が低下する場合があります。



(2) 取付け方法

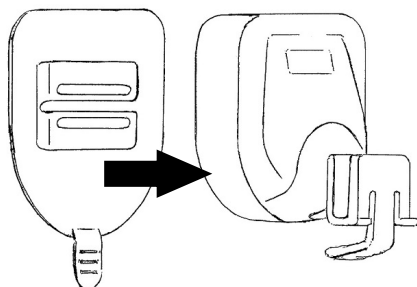
- 事前に取り付け位置を決め、取付け場所のフロントガラスの油脂をクリーナーなどで取り除いてください。(油分や、汚れが付着したまま取り付けると取り付け強度が低下します。)
- レンズには保護フィルムが貼られています。使用時には剥がしてください。またレンズに手を触れないで下さい。万一汚れた場合は柔らかい布等で拭き取って下さい。
- 本体に粘着テープ付きブラケットを取り付けてください。(A)
- 粘着テープの保護シートを外し、フロントガラスにしっかりと貼り付けてください。(B)



⚠注意：本体にブラケットを取り付ける際は、カチッと音がするまで挿入してください。取付けが不完全だと落下する恐れがあります。

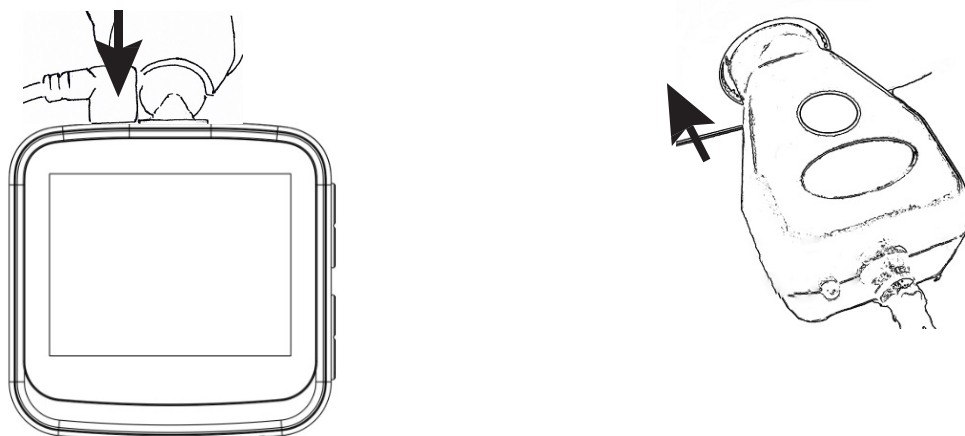
(3) 取外し方法

- 粘着テープ付きブラケットのレバーを (C) の方向に押し上げたまま、本体を (A) の方向にスライドさせると取り外しができます。
- また下図のようにブラケットを矢印の方向にスライドすることでも取り外すことができます。



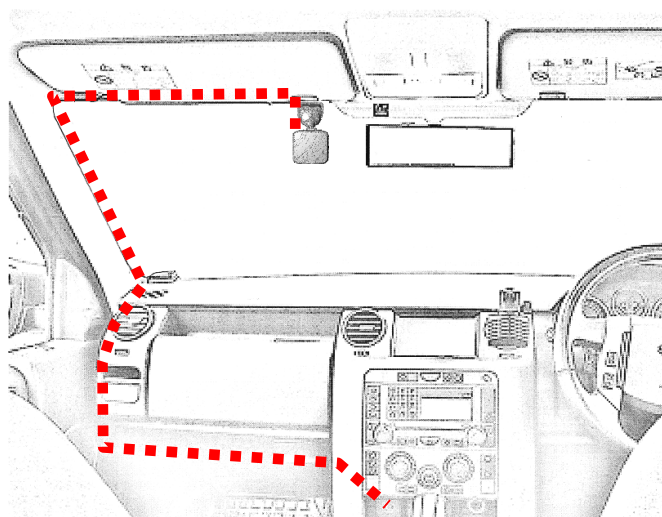
1.6 シガープラグコードの接続と配線

- (1) 付属のシガープラグコードを本体の microUSB 端子 (❶) と車両のシガーソケットに挿入してください。



⚠注意：シガープラグコードは必ず付属のコードを使用してください。他のコードを使用すると故障の原因になることがあります。

- (2) コードを運転の妨げにならないように配線してください。



⚠注意：エアバッグの動作の妨げや、運転の妨げにならないように十分注意して配線してください。

⚠注意：コードを配線する前に、本製品の動作確認を行うことを推奨いたします。

1.7 電源とインジケータについて

- (1) 車両のエンジンを始動 (ACC=オン) させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。

- インジケータ (❷) の状態

赤点灯	充電中であることを示します。
赤/黄点滅 ※	充電中であつ録画中であることを示します。
緑点滅	充電完了状態であつ録画中であることを示します。
消灯	充電完了状態であつ録画していない状態を示します。

※赤/緑の点滅に見える場合があります。

- 電源が供給されると自動的に充電が行われ、約 2 時間で満充電になります。

- (2) 録画中に車両のエンジンを停止 (ACC=オフ) すると、約 10 秒後に自動的に録画を終了し本製品の電源がオフします。
- (3) エンジン停止中でも、内蔵リチウムイオン電池により最大 20 分間 (満充電時) の動作を行うことが可能です。(連続録画は約 10 分。) 但し使用環境や動作モードによって動作時間は異なります。
- ⊖注意：駐車時などエンジン停止 (ACC=オフ) 時にシガーソケットに電源が供給される車で使用する場合は、エンジン停止 (ACC=オフ) 時には必ずシガープラグコードを抜いてください。

1.8 録画モードについて

(1) 常時録画

エンジン始動(ACC=オン)の約 10 秒後からエンジン停止(ACC=オフ)まで、映像を microSD カードに常時録画します。

(2) マニュアル録画

録画停止中に「録画/OK キー」を押すとマニュアル録画を開始します。

(3) 録画ファイル保護

録画中に「モード キー」を押すと LCD 上にカギ アイコンが表示され、退避フォルダー※にファイルを保存します。

(4) 緊急録画 (衝撃感知時)

常時録画中に内蔵の G センサーが衝撃を検知すると、退避フォルダー※にファイルを保存します。

(5) 無操作時オート録画

録画中以外の状態で、設定時間操作が無い場合に自動で常時録画を開始します。

(6) 録画時間の目安

microSD カードの容量に対する録画時間の目安を示します。

	記録サイズ	4GB	8GB	16GB	32GB
1080FHD	1920 × 1080	約 30 分	約 60 分	約 120 分	約 240 分
720p	1280 × 720	約 70 分	約 140 分	約 280 分	約 560 分

⚠注意：記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間 (目安) を越えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

※退避フォルダーは本体では表示されません。フォルダー構成は『2.13 パソコンでの再生』(20 ページ)を参照してください。本体では再生画面にカギ アイコンが表示されます。14 ページの『再生モード画面表示 (9 画面表示)』を参照してください。






1.9 動作モードと画面表示

(1) 動作モード

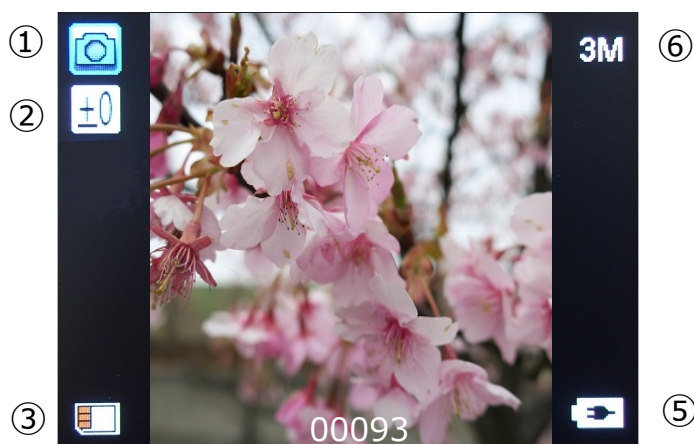
録画停止中に「MODE キー」を押すと、「録画モード」、「カメラモード」、「再生モード」に切り替わります。(録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。)

(2) 録画モード画面表示








	表示名	説明
①	記録サイズ/画質 表示	撮影時の記録サイズ/画質を表示します。
②	モード アイコン	録画モードであることを示します。撮影中は赤丸(●)が点滅します。
③	1 ファイル録画時間 アイコン	1 ファイルの録画時間を示します。  2分単位で録画することを示します。  5分単位で録画することを示します。
④	動体検出 アイコン	動体検出モードがオンの場合表示されます。
⑤	HDR アイコン	HDR がオンのときに表示されます。
⑥	G センサー (衝撃検知) アイコン	G センサーが有効になっているときに表示されます。
⑦	露出アイコン	露出補正の状態を示します。 -2.0 ~ 0 ~ +2.0 を数値で示します。
⑧	SD カード アイコン	SD カードの有無を示します。  挿入されていることを示します。  挿入されていないことを示します。
⑨	日付 表示	現在の日付を表示します。
⑩	時刻 表示	現在の時刻を表示します。
⑪	バッテリー アイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。  5V が供給されていることを示します。  バッテリーの残量を示します。  バッテリーが無くなったことを示します。
⑫	マイク アイコン	音声録音の状態を示します。  オートモードであることを示します。  音声録音がオンであることを示します。  音声録音がオフであることを示します。
⑬	録画時間 (残量時間)	1 ファイル毎の録画時間を示します。録画停止時は録画時間の残量を示します。
⑭	カギ アイコン	録画中に G センサーが衝撃を検知した場合または、録画ファイル保護を行った場合に表示されます。
⑮	スナップショット アイコン	スナップショット撮影時のみ表示されます。

(3) カメラモード画面表示



図はハメこみ合成です。

	表示名	説明
①	モード アイコン	カメラモードであることを示します。
②	露出アイコン	露出補正の状態を示します。 -2.0 ~ 0 ~ +2.0 を数値で示します。
③	SD カード アイコン	SD カードの有無を示します。  挿入されていることを示します。  挿入されていないことを示します。
④	残り撮影枚数	残り容量に何枚撮影できるかを表示します。
⑤	バッテリー アイコン	内蔵バッテリーの状態を示します。  5V が供給されていることを示します。  バッテリーの残量を示します。  バッテリーが無くなったことを示します。
⑥	記録サイズ/画質 アイコン	撮影時の記録サイズ/画質を表示します。



(4) 再生モード画面表示 (9画面表示)



	表示名	説明
①	選択画面	選択されているファイルを示します。
②	カギ アイコン	保護されているファイルであることを示します。
③	ファイル番号	選択されているファイルの番号を示します。
④	動画アイコン	ファイルが動画であることを示します。動画アイコンがないファイルは写真であることを示します。

(5) 再生モード画面表示 (1画面表示)



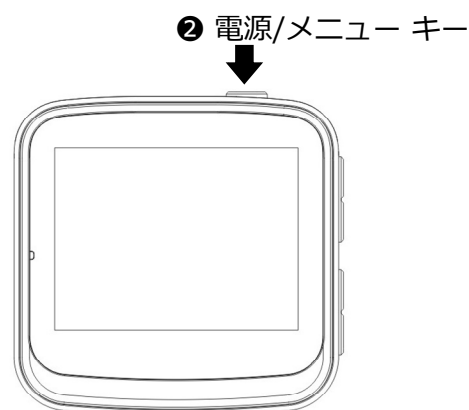
	表示名	説明
①	写真/動画 アイコン	 動画ファイルであることを示します。  写真ファイルであることを示します。
②	録画時間表示	動画の場合に録画時間を表示します。
③	記録サイズ/画質	画像の記録サイズ/画質を表示します。
④	ファイル名	ファイル名を表示します。
⑤	カギ アイコン	ファイルが保護されていることを示します。

1.10 電源のオン/オフ

- (1) 車両のエンジンを始動（ACC=オン）させると、自動的に本製品の電源が入り録画を開始します。
- (2) 「電源/メニュー キー」を2秒以上押し続けるとオフします。
- (3) 再度、「電源/メニュー キー」を押すと電源がオンします。

⚠注意：本製品を初めて使用する場合は内蔵バッテリーが充電されていない可能性があるため、使用前に1時間程度充電してください。充電されていない状態で電源をオフすると、設定値が初期状態に戻る場合があります。

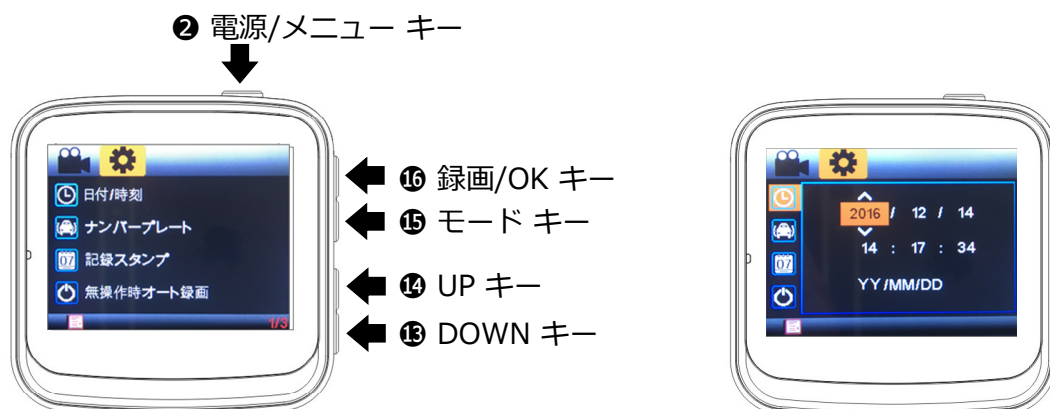
⚠注意：電源が供給されていない場合は、自動的に録画を開始しません



1.11 日時の設定

- (1) 録画停止中に「電源/メニュー キー」を押すとメニューが表示されます。（録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) メニュー画面になった後、「モード キー」を押すと共通設定画面になります。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「日付/時刻」を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (4) 年（西暦）を「UP キー」と「DOWN キー」で合わせ、「録画/OK キー」で決定します。
- (5) 「録画/OK キー」を押す毎に年→月→日→時→分→秒に移動しますので、年と同様に月日と現在時刻を合わせます。日付/時刻の並び順は、YY/MM/DD、MM/DD/YY、DD/MM/YY から選択できます。
- (6) 「モード キー」を押すとメニュー画面に戻ります。
- (7) 「電源/メニュー キー」を押すとメニュー画面を終了します。

⚠注意：長時間電源オフの状態が続くと内蔵バッテリーが切れ、日時設定が初期状態に戻ることがあります。その際は再度設定を行ってください。



1.12 microSD カードのフォーマット

付属の microSD カード以外のカードを使用する場合はカードのフォーマットが必要です。以下の手順に従って本製品上でフォーマットを行ってください。(付属の microSD カードは初期フォーマットの必要はありませんが、品質を維持するために定期的にフォーマットを行ってください。フォーマットを行うと全てのデータは消去されますのでご注意ください。)

- (1) 録画停止中に「電源/メニュー キー」を押すとメニューが表示されます。(録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) メニュー画面になった後、「モード キー」を押すと共通設定画面になります。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で「フォーマット」を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (4) 「SD カード」と表示されますので、続けて「録画/OK キー」を押します。
- (5) 「全てのデータを削除します」と表示されますので「DOWN キー」で「OK」を選択し、「録画/OK キー」を押すとフォーマットを実行します。
- (6) (3) のフォーマットを選択した画面に戻ればフォーマットは完了です。
- (7) 「電源/メニュー キー」を押すとメニュー画面を終了します。



⚠注意 : microSD カードの抜き差しを行うときは、必ず電源をオフにしてから行って下さい。microSD カードの破損、データ消失や本製品の故障の原因となります。

⚠注意 : microSD カードは消耗品です。定期的に新品と交換してください。また長時間記録を繰り返すと不良セクタが増え記録できなくなることがありますので、一か月に一度を目安に定期的にフォーマットを行ってください。

2 使用方法

2.1 常時録画

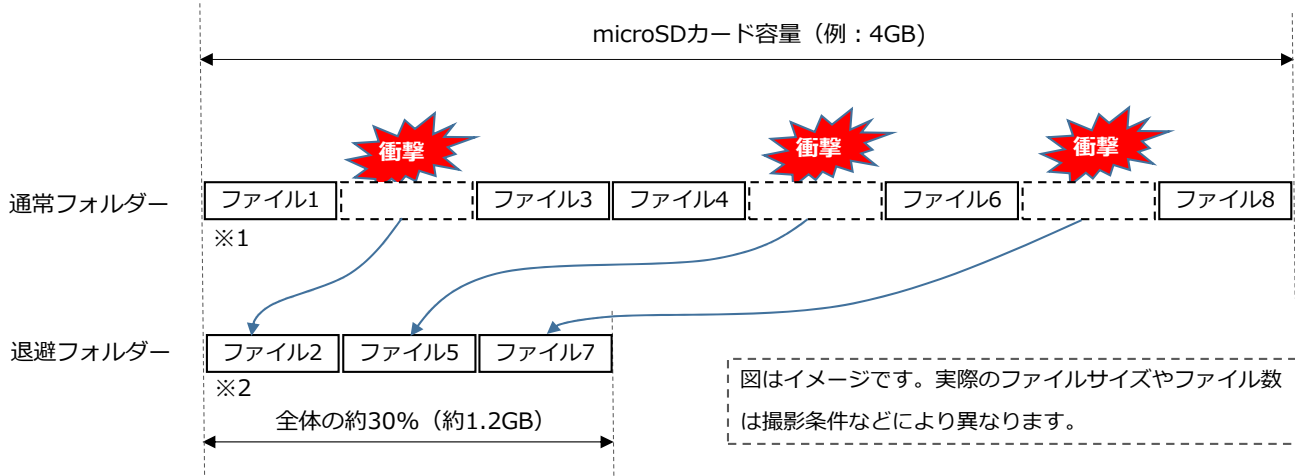
- (1) 車両のエンジンを始動(ACC=オン)させると約 10 秒後に本製品が起動し、自動的に録画を開始します。エンジンを停止(ACC=オフ)後 10 秒までの映像を microSD カードに常時録画します。録画開始時には録画開始を音でお知らせします。
- (2) 録画は、あらかじめ設定した録画単位で 1 ファイル毎に通常フォルダーに記録されます。microSD カードの容量が一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。録画単位は録画モードのメニューから選択できます。(21 ページ参照)
- (3) 録画の記録サイズ/画質は、録画モードのメニューから選択できます。(21 ページ参照)

2.2 緊急録画（衝撃感知時）

- (1) 常時録画中に本体内蔵の G センサーが衝撃を感知すると、自動的にファイルを退避フォルダー※に退避させます。保護されたファイルにはカギマークが付加され、常時録画では上書きされません。
- (2) 退避フォルダーに保護されたファイルが microSD カード容量の約 30%に達すると、退避フォルダー内で古いファイルから順次上書きを行います。保存しておきたいファイルはこまめに PC などへバックアップを行ってください。バックアップの方法は『2.13 パソコンでの再生』(20 ページ)を参照いただき、必要なファイルを PC に保管してください。
- (3) G センサーの感度は 3 段階から選択できます。録画モードのメニューから選択してください。(22 ページ参照)

※退避フォルダーは本体では表示されません。フォルダー構成は『2.13 パソコンでの再生』(20 ページ)を参照してください。本体では再生画面にカギ アイコンが表示されます。14 ページの『再生モード画面表示 (9 画面表示)』を参照してください。

⚠注意：microSD カードの容量に空きがある場合（使用開始時や、フォーマット後など）は、退避フォルダーの容量が約 30%を超えても緊急録画されます。ただし microSD カードの容量が一杯になった場合は、退避フォルダーの容量が約 30%になるように古いファイルから上書きされます。



- ※1 通常フォルダー内でファイルが一杯になったら、通常フォルダー内の古いファイルから上書きされます。
※2 退避フォルダー内でファイルが一杯になったら、退避フォルダー内の古いファイルから上書きされます。

2.3 マニュアル録画

- (1) 録画中に「録画/OK キー」を押すと録画を停止します。停止中に再度「録画/OK キー」を押すと録画を開始します。

2.4 録画ファイル保護

- (1) 録画中に「モード キー」を押すと録画中のファイルを保護します。(LCD 画面上にカギアイコンが表示されます。) 再度「モード キー」を押すと保護が解除されます。
- (2) 保護した状態 (LCD 画面上にカギアイコンが表示された状態) で 1 ファイル録画を完了すると、そのファイルは退避フォルダーに退避されます。

⚠注意：microSD カードの容量に空きがある場合 (使用開始時や、フォーマット後など) は、退避フォルダーの容量が約 30%を超えても記録されますが、容量が一杯になった場合約 30%を超えたファイルは上書きされます。

2.5 無操作時オート録画

- (1) 録画中以外の状態 (録画停止中/カメラモード/再生モード/メニュー選択時) で、無操作の状態が設定時間続くと自動的に録画を開始します。設定時間と本機能のオン・オフは共通設定メニューより選択できます。(24 ページ参照)

2.6 プライバシーオート録音

- (1) 常時録画中は音声録音を行わず、衝撃を検知した場合に音声録音を行う機能です。衝撃を検知した時点から音声録音が始まり 1 ファイル録画完了まで録音されます。(ファイルは退避フォルダーに入ります。) 次の録画では再び音声録音は行わない状態に戻ります。

⚠注意：衝撃を検知する前の音声は録音されません。音声録音中は LCD 画面上にカギ アイコンが表示されます。

- (2) 録画モードのメニューから「音声録音」を選択し、「オート」を選択することで本機能が有効になります。本機能を使用したくない場合は「オン」または「オフ」を選択してください。(22 ページ参照)

2.7 写真撮影

- (1) カメラモードで「録画/OK キー」を押すと写真 (静止画) を撮影できます。
- (2) 記録サイズ/画質はカメラモードのメニューより選択できます。(22 ページ参照)

2.8 スナップショット

- (1) 録画モードで録画中に「電源/メニュー キー」を押すと、録画しながら写真 (静止画) を撮影することができます。

⚠注意：スナップショットの記録サイズ/画質は、録画モードの記録サイズ/画質と同じになります。

2.9 動体検出

⊘注意：動体検出は駐車時など本製品が固定された状態（動かない状態）で使用することを想定しています。移動時は必ず動体検出機能はオフにしてください。

- (1) 録画モードのメニューの「動体検出」をオンにし、録画モードにすると動体検出機能が有効になります。本機画面範囲内の動体の移動を検知すると録画が開始され、10秒間動体が検知されなければ自動的に録画を停止します。(21 ページ参照)

⚠注意：動体検出機能は電源オンの間有効で、再起動すると設定はオフに戻ります。

2.10 再生

- (1) 再生モードにすると、撮影された動画および写真が表示されます。(9 画面表示)
- (2) 再生したい動画または写真を「UP キー」, 「DOWN キー」で選択し、「録画/OK キー」で決定します。(1 画面表示)
- (3) 動画の場合は、「録画/OK キー」で動画の再生、一時停止を行えます。また動画再生中の場合は「UP キー」, 「DOWN キー」で、早戻し、早送りができます。
- (4) 「モード キー」で9 画面表示に戻ります。

2.11 ファイルの消去／保護

ファイルの消去及びファイルの保護は、再生モードのメニューから行うことができます。

- (1) 再生モードにすると、撮影された動画および写真が表示されます。(9 画面表示)
「UP キー」, 「DOWN キー」で対象のファイルを選択し、「録画/OK キー」を押して1 画面表示にします。(9 画面表示に戻すには「モード キー」を押します。)
- (2) 「電源/メニュー キー」を押すとメニュー画面が表示され、「消去」「保護」が選択できます。
- (3) 「消去」「保護」の方法は『3.3 再生メニュー操作 (ファイル消去と保護)』(22 ページ) を参照ください。

2.12 テレビ（モニター）での再生

本製品は市販の HDMI ケーブルを使って、テレビやモニターに映像と音声を出力できます。

- (1) 本製品の HDMI 端子(HDMI ミニ)とテレビまたはモニターを市販の HDMI ケーブルで接続します。
- (2) 本製品の電源を入れると、自動的にテレビ（モニター）に映像が映し出されます。
- (3) 「モード キー」で再生モードにしてください。
- (4) 以降の操作は、『2.10.再生』を参照してください。

⚠注意：HDMI ケーブルは付属していません。

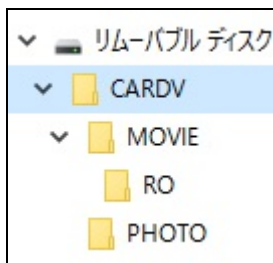
⚠注意：テレビ（モニター）に出力中は、本製品の LCD 画面はオフします。

⚠注意：テレビ（モニター）に出力中は、録画および写真撮影はできません。

2.13 パソコンでの再生

本製品で撮影した映像は microSD カードを介してパソコンで再生することができます。

- (1) 本製品の電源がオフであることを確認し、microSD カードを取り出します。
- (2) microSD カードを市販の SD カード変換アダプタにセットし、パソコンの SD カードスロットに挿入します。パソコンに SD カードスロットがない場合は、市販のカードリーダーなどを使用してください。
- (3) パソコンで SD カードが接続されているドライブをクリックします。
- (4) 『CARDV』フォルダーをダブルクリックします。
- (5) フォルダ構成は以下のようになっています。



MOVIE フォルダ：RO フォルダと、常時録画の映像ファイルおよび写真ファイルが入っています。

RO フォルダ：退避フォルダです。緊急録画ファイルと、録画中に保護したファイルが入っています。（緊急録画と録画中に保護したファイルがない場合は表示されません。）

PHOTO フォルダ：写真ファイルが入っています。（写真ファイルがない場合は表示されません。）

- (6) 再生したいフォルダをダブルクリックします。
- (7) 再生したいファイルをパソコンの動画再生アプリ、または写真用アプリで再生してください。

⚠注意：SD カード変換アダプタは付属していません。

3 メニュー設定および操作

3.1 録画メニュー設定

- (1) 録画停止中に「MODE キー」を押し、「録画モード」に切り替えます。(録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。)
- (2) 「電源/メニュー キー」を押すと録画メニューが表示されます。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で変更する項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。

(5) 録画設定項目

- 記録サイズ/画質【初期設定：1080FHD】

動画の記録サイズ/画質を設定します。

1080FHD	1920 × 1080p 30fps
720p	1280 × 720p 30fps

- 1 ファイル録画時間【初期設定：2分】

録画時間単位を設定します。1 ファイル毎に設定した時間で録画されます。microSD カードの容量一杯になると、古いファイルから順次上書きを行い、自動的にループ録画を繰り返します。

2分	2分単位のループ録画を行います。
5分	5分単位のループ録画を行います。

- HDR【初期設定：オン】

HDR をオンにすることで、逆光やトンネルの出入口など、明暗が強い場合に画像補正を行い、鮮明な画像を録画します。

オフ	HDR をオフにします。
オン	HDR をオンにします。

- 動体検出【初期設定：オフ】

画面範囲内で物体が動いたときに自動で録画を開始します。

オフ	動体検出を行いません。
オン	物体が動くと録画を開始します。

⚠注意：駐車中を想定しています。移動中は必ずオフに設定してください。

- 音声録音【初期設定：オート】

録画と同時に音声を録音することができます。オートに設定すると、常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検知すると自動的に音声録音を行います。

オフ	音声録音を行いません。
オン	音声録音を行います。
オート	常時録画では音声録音を行わず、衝撃を検知すると自動的に音声録音を行います。

- Gセンサー感度【初期設定：中】

衝突事故などの衝撃を自動的に感知しファイルを保護します。保護されたファイルはその後の常時録画（ループ録画）では上書きされません。

オフ	衝撃を検知しません。
低	大きな衝撃が起こると検知します。
中	中規模の衝撃が起こると検知します。
高	軽微な衝撃でも検知します。

⚠注意：事前にテストを行い希望の感度を設定してください。

3.2 カメラメニュー設定

- (1) 録画停止中に「MODE キー」を押し、「カメラモード」に切り替えます。（録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) 「電源/メニュー キー」を押すとカメラメニューが表示されます。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で変更する項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (5) 写真設定項目

- 記録サイズ/画質【初期設定：3M】

静止画の記録サイズを設定します。

3M	3M (2048 × 1536) ピクセル
12M	12M (4032 × 3024) ピクセル

3.3 再生メニュー操作（ファイル消去と保護）

- (1) 録画停止中に「MODE キー」を押し、「再生モード」に切り替えます。（録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。）
- (2) 「電源/メニュー キー」を押すと再生メニューが表示されます。
- (3) 「UP キー」と「DOWN キー」で項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。
- (4) 項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。

(5) 再生設定項目

- 消去

1 ファイル毎に消去するか、全てのファイルを消去するか選択できます。保護されているファイルを消去する場合は、保護を解除してから消去してください。

このファイルを消去	選択中のファイルを消去します。
全て消去	保護されていない全てのファイルを消去します。

- 保護

1 ファイル毎に保護または保護解除するか、全てのファイルを保護または保護解除します。

このファイルを保護	選択中のファイルを保護します。
このファイルを保護解除	選択中のファイルの保護を解除します。
全てのファイルを保護	全てのファイルを保護します。
全てのファイルを保護解除	全てのファイルの保護を解除します。

3.4 共通設定

(1) 録画停止中に「電源/メニュー キー」を押すとメニューが表示されます。(録画中の場合は「録画/OK キー」を押して録画を停止してください。)

(2) メニュー画面になった後、「モード キー」を押すと共通設定画面になります。

(3) 「UP キー」と「DOWN キー」で変更する項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。

(4) 変更する項目の詳細が表示されます。「UP キー」/「DOWN キー」で詳細項目を選択し、「録画/OK キー」で決定してください。

(5) 共通設定項目

- 日付/時刻

日付、時刻を合わせます。「UP キー」、「DOWN キー」で日付・時刻を合わせ、「録画/OK キー」で決定してください。「録画/OK キー」を押す毎に年→月→日→時→分→秒に移動します。

日付/時刻の並び順は、YY/MM/DD、MM/DD/YY、DD/MM/YY から選択できます。確定後に「モード キー」を押すと共通設定画面に戻ります。

- ナンバープレート

自車のナンバープレート番号など、数字とアルファベットを最大 9 桁設定できます。設定した番号は記録した映像にスタンプとして表示できます。記録データの管理などに活用できます。

「UP キー」、「DOWN キー」で選択、「録画/OK キー」で次の桁に移動します。確定後に「モード キー」を押すと共通設定画面に戻ります。

- 記録スタンプ【初期設定：日付/時刻=オン、ロゴ=オン、ナンバープレート=オフ】

撮影時に [日付/時刻]、[ロゴ]、[ナンバープレート] を記録できます。

記録する・しないは個別に設定できます。一度記録されたスタンプは消去することはできません。

「UP キー」、「DOWN キー」で選択、「録画/OK キー」で選択します。確定後に「モード キー」を押すと共通設定画面に戻ります。

- 無操作時オート録画【初期設定：5分】

録画中以外の状態で無操作の状態が指定時間続くと、自動的に録画モードに切り換り録画を開始します。

オフ	自動的に録画を開始しません。
3分	無操作状態が3分続くと録画を開始します。
5分	無操作状態が5分続くと録画を開始します
10分	無操作状態が10分続くと録画を開始します

- オート画面オフ【初期設定：オフ】

録画モードで指定時間の間無操作状態が続くとLCD画面をオフにします。画面は消灯しますが録画状態はインジケータで確認できます。(録画時は緑点滅または赤/黄点滅)

オフ	LCD画面をオフにしません。
1分	無操作状態が1分続くとLCD画面をオフにします。
3分	無操作状態が3分続くとLCD画面をオフにします。
5分	無操作状態が5分続くとLCD画面をオフにします。

- 音量【初期設定：高】

本機で再生する音量を三段階に調節できます。

高	音量を高めに設定します。
中	音量を中間に設定します。
低	音量を低めに設定します。

⚠注意：録音される音量は変化しません。

- 露出【初期設定：0】

光量を調整して好みの露出で録画します。(初期設定：+0)

-2～+2の範囲で露出を調整できます。

暗くしたい時 ←	標準	→ 明るくしたい時
-2.0 ~ -1/3	0	+1/3 ~ +2.0

- フォーマット

microSDカードを初期化します。「SDカード」を選択し、「録画/決定ボタン」を押し[OK]を選択すると、全てのデータが消去されます。

キャンセル	SDカードを初期化しません。
OK	SDカードを初期化します。(全データの消去)

- 設定の初期化

本機の設定内容を初期状態に戻します。(データは消去されません。)

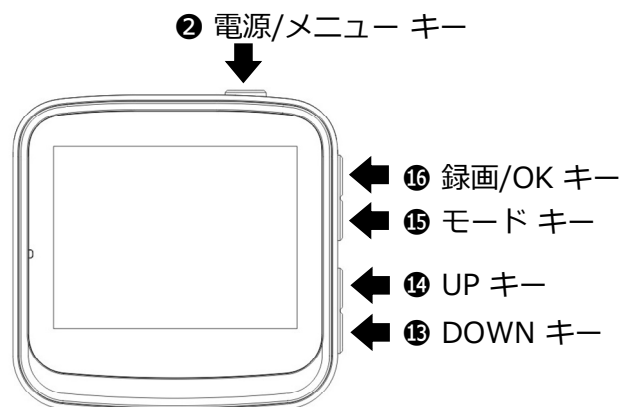
キャンセル	初期設定に戻しません。
OK	初期設定に戻します。

- バージョン

現在のファームウェアのバージョンを表示します。

4 キー割当て

キー モード	キー割当て				
	② 電源/メニュー	⑯ 録画/OK	⑮ モード	⑭ UP	⑬ DOWN
■録画モード					
録画中	写真撮影 (スナップ)	録画停止	ファイル保護 /保護解除	-	LCD 画面オフ (いずれかの キーでオン)
停止中	メニュー表示 /非表示	マニュアル録 画開始/停止	モード切換え	-	LCD 画面オフ (いずれかの キーでオン)
■カメラモード					
カメラモード	メニュー表示 /非表示	写真撮影 (シ ャッターボタ ン)	モード切換え	ズームイン	ズームアウト
■再生モード					
9 画面表示	ファイル保護 /保護解除	1 画面表示	モード切換え	前のファイル に移動	次のファイル に移動
1 画面表示 (動画)	メニュー表示 /非表示	動画再生/ 一時停止	9 画面表示へ 戻る	前のファイル に移動/再生 中は早戻し	次のファイル に移動/再生 中は早送り
1 画面表示 (写真)	メニュー表示 /非表示	-	9 画面表示へ 戻る	前のファイル に移動	次のファイル に移動
■メニュー					
メニュー設定	メニュー表示 /非表示	メニュー項目 の決定	設定メニュー /各モードメ ニュー	上方向に移動	下方向に移動



5 故障かなと思ったら

5.1 電源がオンにならない（インジケータも点かない）

- シガープラグコードは本製品付属のものですか？
- シガープラグコードは正しく本製品とカーシガーソケットに接続されていますか？
- カーシガーソケットのヒューズが切れていませんか？
- シガープラグコードのヒューズが切れていませんか？（シガープラグのLEDは点灯していますか？）

5.2 録画を開始しない

- 電源は供給されていますか？
- microSD カードは正しく挿入されていますか？
- microSD カードに十分な空き容量があるか確認してください。
- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 microSD カードを使用してください。
- microSD カードをフォーマットしてください。

5.3 キーが反応しない、動作がおかしい

- 本体をリセットしてください。（リセットキーを押してください。）
- microSD カードに不良セクタが発生している、または速度が遅い microSD カードを使用していると動作が止まる場合があります。一度 microSD カードを PC 上でフルフォーマットするか、転送速度の速い microSD カードをご使用ください。

5.4 メモリーエラーが出る

- SDHC 規格に適合した Class6 または Class10 の高速 microSD カードを使用してください。
- 使用できるメモリーサイズは 32GB までです。メモリーサイズをご確認ください。
- microSD カードをフォーマットしてください。（必ず本機でフォーマットしてください。）

5.5 常時録画でビデオが保存されていない

- ループ録画より 8GB の microSD カードでは連続撮影約 60 分で上書きされます。
- G センサー感度が高に設定されていませんか？ G センサーが衝撃を感知すると、自動的にファイルを退避フォルダーに退避させます。20 ページを参照してください。

5.6 録画した映像がぼやけている

- レンズが汚れや、指紋が付いていないか確認し、汚れていたら柔らかい布でふきとってください。
- 車のウィンドウが汚れていないか、またはワイパーの可動範囲外に本製品が取り付けられていないか確認してください。

5.7 信号待ちのときに常時録画が停止してしまう

- 動体検出がオンになっていませんか？移動時は動体検出をオフにしてください。

5.8 地上デジタル放送に影響がでる

- 取付け位置を地デジアンテナからなるべく離してください。

5.9 パソコンで映像が再生できない。またはスムーズに再生できない

- ご使用のパソコンが Quick Time 形式のビデオを再生できる仕様であるかご確認ください。

5.10 日時がリセットされてしまう

- 長期間ご使用されなかった場合など、内蔵バッテリーが空になり日時がリセットされることがあります。電源を供給して再度設定してください。

5.11 LCD 画面がしばらくすると消えてしまう

- オート画面オフが有効の場合、録画中に設定時間が経過すると LCD 画面が消灯します。LCD 画面を消したくない場合は、設定でオート画面オフを無効にしてください。

6 仕様

製品名		OWL-DR04-BK
外形寸法（本体）		62.0 (W) x 63.0 (H) x 28.0 (D) mm
本体重量		60g
カメラ	映像素子	1/3 インチ CMOS センサー
	画素数	310 万画素
	レンズ F 値	F1.8
	視野角	対角 156°
記録メディア		microSD カード（8GB 付属）32GB まで対応 ※Class6 以上（Class10 を推奨）
記録解像度	動 画	1920x1080, 30fps (1080P FHD) 1280x720, 30fps (720P)
	静止画	12M（4032 × 3024） 3M（2048 × 1536） スナップショットは動画と同解像度となります。
LCD 画面	サイズ	2.4 インチ TFT 液晶（16:9）
記録方式	動 画	MOV フォーマット
	静止画	JPEG フォーマット
映像・音声出力		HDMI Mini Type C 端子 （ケーブルは付属していません）
本体電源入力		microUSB（5V, 1A）
シガープラグコード		12V/24V 入力（マイナスアース）, 長さ 4m
内蔵バッテリー	タイプ	リチウムイオン充電電池
	容 量	130mAh
	動作時間	録画時 約 10 分
動作温度範囲		-10℃ ~ 50℃
その他		LED 信号機消滅問題対策済み 地デジ妨害対策実施済み

microSD カードの容量に対する録画時間の目安

	記録サイズ	4GB	8GB	16GB	32GB
1080FHD	1920 × 1080	約 30 分	約 60 分	約 120 分	約 240 分
720p	1280 × 720	約 70 分	約 140 分	約 280 分	約 560 分

記録時間は目安であり保証するものではありません。上記時間（目安）を越えると古いファイルから上書きし、ループ記録を行います。

Owltech 保証書

1. 保証について

- 保証書は記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間はご購入日より1年間です。
- 本製品の保証は、日本国内での使用に限ります。
- 開梱直後に故障または不具合が発生した場合は、販売店捺印のある本保証書か、それに代わるレシート、または納品書等をご用意の上、販売店または弊社サポートセンターへお問い合わせ下さい。
- 以下保証規定に従った内容で無償修理または交換いたします。保証期間経過後の修理に関しましては有償修理または有償交換となります。

2. 保証規定

この保証書は正しい使用方法に従った上で起きた故障で、保証期間内であることが認められた場合に限り、無償で修理または交換を保証するものです。また適用範囲は本体のみであり、microSDカードなどの付属品は保証の対象外となります。保証期間内であっても次の各項に該当する場合は、保証対象外または有償対応となります。

- 使用上又は取付け時の誤り及び当社以外での修理、調整、改造による故障及び損傷。
- ご購入後の落下、不適当な取付けなど、自損や不当な取り扱いによる故障及び損傷。
- 火災・地震・落雷・水害・その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
- 故障の原因が本製品以外（他の電子機器など）にあつて、それを点検修理した場合。
- 本保証書のご提示が無い場合及び本保証書に購入年月日・お客様名・販売店名の記載が無い場合。
- 本保証書に記入された事項を許可無く書き換えた場合。
- 機能上問題の無い小傷、液晶画面のドット抜け、及び箱などの軽微な傷や潰れ等。
- 製品を使用できなかった事の対価、取外しや販売店への搬送など直接或いは間接的に発生する手間等の対価。
- 高温・高湿度環境下での使用及び、ほこりやごみの付着・虫などの侵入を原因とする故障など。
- オークション、中古販売及び譲渡等により本製品を入手した場合など。

品名/型番	ドライブレコーダー / OWL-DR04-BK	
ご購入年月日	年 月 日	
保証期間	ご購入日より1年間	
保証対象	本体	
お客様	ご氏名	
	ご住所	〒 _____
	電話番号	TEL: ()
販売店	販売店印・レシート添付欄 印	

*本保証書は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

*本書は、本記載内容で無償修理・交換をさせていただくことをお約束するものです。本保証書にご購入店の捺印が無い場合は購入レシート等で代用可能ですので、必ずレシートは本保証書と一緒に大切に保管して下さい。



株式会社オウルテック

〒243-0422 神奈川県海老名市中新田5-24-1

Webサイト: <http://www.owltech.co.jp>

Web内のメールフォームよりお問合せ下さい
保証適用の際は購入履歴が必要となります。

☎046-236-3522 平日10時～12時/13時～18時

MCA01-0006-03